

令和2年10月31日
福島県立湯本高等学校学校評価研究委員会

○評価基準 1：十分評価できる 2：だいたい評価できる
3：あまり評価できない 4：まったく評価できない

○本報告書においては、1・2を選択した割合が70%以上は「◎」、69～50%は「○」、49%～30%は「△」、30%未満は「×」で示しています。「※」は評価の対象ではないものです。

○アンケート人数 生徒 688名中 675名回答（回答率 98.1%）
保護者 688名中 604名回答（回答率 87.8%）
教職員 47名中 47名回答（回答率 100.0%）

(1)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生徒	◎	◎	学校の授業はわかりやすく工夫されていますか。	96%	96%	96%
保護者	◎	◎	学校の授業はわかりやすく工夫されているとお子様は話していますか。	84%	82%	83%
教職員	◎	◎	わかりやすい授業に向けて工夫していますか。	96%	93%	98%

生徒、保護者、教職員に係る結果では、昨年度同期と比較してほぼ同程度の高い評価であった。授業はわかりやすく工夫されているので、そこで得た知識の確かな定着が今後の課題である。

(2)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生徒	◎	◎	あなたは居眠りや私語をせずに集中して真剣に授業に取り組んでいますか。	76%	77%	75%
保護者	◎	◎	お子様は集中して真剣に学習（授業）に取り組んでいると思いますか。	80%	79%	85%
教職員	◎	◎	生徒は居眠りや私語をせずに集中して真剣に授業に取り組んでいますか。	91%	86%	87%

昨年度同期と比べて、保護者の評価は5ポイント上がったが、教職員の評価は4ポイント下がった。これは、生徒が授業に臨む姿勢に対して、教職員の要求が高くなってきていることの表れと考えられる。また、生徒の評価が教職員の評価よりも12ポイント低い、授業により真剣に取り組もうとする姿勢の表れと考えられる。

(3)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	△	○	あなたは授業を理解するために日頃から予習・復習に取り組んでいますか。	48%	46%	54%
保護者	○	○	お子様は授業を理解するために予習・復習に取り組んでいますか。	51%	52%	59%
教職員	×	△	生徒は授業を理解するために日頃から予習・復習に取り組んでいますか。	24%	23%	37%

生徒、保護者、教職員そろって低い評価であるが、全てにおいて昨年度同期と比較して評価が上がってきている。授業における指導に加え、LHRや全校集会、進路講演会などをとおして、生徒及び保護者に家庭学習の習慣化について訴えてきた成果が表れてきたと考えられる。しかし、低い評価であるため、今後とも様々な機会を通して、さらなる意識の高揚を図っていく必要がある。

(4)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	あなたは学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	96%	98%	97%
保護者	◎	◎	お子様は学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	93%	93%	93%
教職員	◎	◎	生徒は学習に必要な教科書・ノートなどを忘れずに準備して授業に取り組んでいますか。	100%	95%	96%

生徒、保護者、教職員すべてにおいて高評価となった。本来 100%にならなければならない項目なので、生徒及び保護者に対して、今後とも指導の継続を図りたい。

2 進路希望支援・指導の充実に関すること

(5)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	本校の学習活動（課外・小論文・個別指導を含む）は進路実現に向けて役立っていると思いますか。	96%	95%	94%
保護者	◎	◎	本校の学習活動（課外・小論文・個別指導を含む）は進路実現に向けて役立っていると思いますか。	87%	87%	88%
教職員	◎	◎	進路指導に役立つ指導（課外・小論文・個別指導など）や授業の工夫をしていますか。	91%	96%	94%

放課後課外、長期休業中における課外や土曜課外など、これまでの取組みをさらに充実させることに加えて、3年生の大学受験等に係る小論文指導や個別添削指導などをとおして進路目標の実現を図りたい。

(6)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	個人面接や三者面談などで生徒・保護者との相互理解は図れていますか。	96%	95%	92%
保護者	◎	◎	個人面接や三者面談などで教師・保護者との相互理解は図られていますか。	95%	92%	79%
教職員	◎	◎	個人面接や三者面談などで教師・保護者との相互理解を図っていますか。	90%	96%	98%

保護者の評価が昨年度同期と比較し下がったことは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業や学年PTAの中止、夏季休業中の面談の縮小などが要因として考えられる。今後、必要に応じて、個人面接や三者面談を実施し、生徒、保護者及び教員間の相互理解を図っていきたい。

(7)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	本校の進路指導や学年の進路情報の提供は充実していますか。	92%	93%	93%
保護者	◎	◎	本校の進路指導部や学年の進路情報の提供は充実していますか。	86%	82%	81%
教職員	◎	◎	進路指導（担任の立場・教科指導の立場等）の充実に努めていますか。	95%	100%	98%

昨年と同程度の評価である。生徒及び教職員は、進路指導や進路情報提供について充実していると感じているものの、保護者の評価は下がった。HPから情報提供も実施している旨を保護者に伝えるなど、より一層の情報発信に努める。

3 部活動の充実に関すること

(8)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	１・２を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	本校の部活動・委員会活動・生徒会活動は充実していますか。	94%	92%	94%
保護者	◎	◎	本校の部活動・委員会活動・生徒会活動は充実していますか。	95%	93%	90%
教職員	◎	◎	部活動・委員会活動・生徒会活動の充実に努めていますか。	95%	96%	100%

生徒、保護者、教職員すべてにおいて高評価となった。今後とも充実した部活動、委員会活動、生徒会活動を継続できるよう取り組んでいく。

(9)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	あなたは積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	86%	86%	85%
保護者	◎	◎	お子様は積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	86%	84%	83%
教職員	◎	◎	生徒は積極的に部活動・委員会活動・生徒会活動に取り組んでいますか。	84%	84%	89%

生徒、保護者、教職員ともに高い評価となった。多くの生徒に対して、部活動等に積極的に参加する指導を継続していく。

4 生徒指導・主体的参加体験学習の充実に関すること

(10)

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	あなたは校則（服装・頭髪・携帯電話使用等）や通学マナーを守り、けじめがある学校生活を送っていますか。	98%	96%	97%
保護者	◎	◎	お子様は校則（服装・頭髪・携帯電話使用等）や通学マナーを守り、けじめがある学校生活を送っていますか。	98%	98%	99%
教職員	◎	◎	生徒は校則（服装・頭髪・携帯電話使用等）や通学マナーを守り、けじめがある学校生活を送っていますか。	93%	86%	91%

【評価基準 1:十分送っている 2:だいたい送っている 3:あまり送っていない 4:ほとんど送っていない】生徒、保護者、教職員ともに、1・2と回答した割合は90%を超えており概ね良好と思われる。今後も継続して指導していく。

$$(1 \ 1)$$

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	割合					
				R1 中		R1 期		R2 中	
生 徒	※	※	本校での生活はどのような活動が充実していますか。	1	28%	1	28%	1	34%
				2	65%	2	65%	2	60%
				3	3%	3	3%	3	2%
				4	5%	4	4%	4	4%
保護者	※	※	お子様は本校での生活のどのような活動に充実感を いただいていますか。	1	25%	1	28%	1	34%
				2	63%	2	60%	2	55%
				3	7%	3	7%	3	5%
				4	5%	4	6%	4	6%
教職員	※	※	どのような活動で生徒が充実した生活を送っていますか。	1	2%	1	5%	1	21%
				2	89%	2	82%	2	70%
				3	5%	3	5%	3	0%
				4	5%	4	9%	4	9%

【評価基準 1：学習活動 2：部活動・委員会活動 3：その他 4：充実していない】

「充実していない」と回答した生徒、保護者、教員で若干名いる。すべての生徒が、充実感を感じる学校生活の支援を考える必要がある。

$$(1\ 2)$$

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	心身ともに健康な生活を送るために先生方は親身に相談に乗ってくれますか。	93%	91%	92%
保護者	◎	◎	心身ともに健康な生活を送るために先生方は親身に相談に乗ってくれますか。	89%	90%	90%
教職員	◎	◎	生徒が心身ともに健康な生活を送るためにあなたは親身に相談に乗っていますか。	98%	98%	98%

昨年度同時期と同程度の評価である。スクールカウンセラー等との連携をさらに深めながら、今後とも生徒が健康で安心した学校生活を送ることができるよう支援していく。

$$(1\ 3)$$

対象	R1 中間	R2 中間	質問事項	1・2を選択した割合		
				R1 中	R1 末	R2 中
生 徒	◎	◎	あなたは校内・校外のボランティア活動に積極的に参加したいと思っていますか。	90%	94%	94%
保護者	◎	◎	お子様は本校の校内・校外のボランティア活動に積極的に参加しようとしていますか。	83%	85%	82%
教職員	◎	○	生徒はボランティア活動に積極的に参加しようとしていますか。	63%	80%	83%

【評価基準 1: ぜひ、したい 2: 機会があればしたい 3: あまりしたくない 4: したくない】

ボランティア活動に参加したいという生徒、保護者は多い。昨年度同時期と比較して教員の評価も高くなった。今まで同様に、各種ボランティア依頼があった際には、生徒に周知し、参加の機会を提供していく。

(14)

教職員による教育活動の実践及びその成果等の発信と保護者の受け止め方は、同程度の高い評価である。
今後とも継続し、さらに連携を深めたい。

(15)

学校経営運営ビジョンや学校評価の推進について、引き続き学校全体で取り組んでいきたい。

$$(1\ 6)$$

教職員の高評価に対して、保護者の自己評価が低い。PTA行事等について、より多くの保護者が参加できるように、PTA活動についての理解や日程の調整や広報の仕方を工夫するなどして、より多くの協力を得られるようにしたい。